

～入学式 答辞～

〈令和2年4月16日〉

冬の寒さも和らぎ、春の訪れを感じる季節になりました。私達39名がこの京都第一赤十字看護専門学校の学生となり、看護師になるための大きな一歩を踏み出せたことを大変嬉しく思います。

本日は諸先生方の御臨席を賜り、新型コロナウイルス感染症が拡大しているにもかかわらず、入学式を挙げて頂きました事を一同心より感謝し、御礼申し上げます。

只今の学校長先生からのお言葉を心に刻み、仲間と互いに支え合い、高め合いながら先輩方が築いてこられた赤十字の伝統と「人道」の精神を受け継いでまいります。

現在、世界各地で新型コロナウイルスが猛威をふるい、多くの人がその影響を受けています。その中で、看護師を志す者として今どのようなことが起こっているのか、また、自分に何ができるのかを考えながら過ごすべきだと感じます。そして、私達はこれから日本赤十字社の一員としての自覚と責任を持ち、どんなときも患者さんを第一に考える看護師になることを誓います。

まだまだ未熟な私達ではありますが、どうぞ今後ともご指導・ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。

誠に簡単ではございますが、新入生を代表し、答辞とさせていただきます。



第89回入学生代表 村岡 麻衣